

令和5年度第2回八代市社会教育委員会議 会議録

令和5年11月7日（火）午前9時30分～

会場：八代市公民館 会議室A B

出席委員 生田委員、三栗野委員、徳田委員、林委員、松本（卓）委員、寺尾委員、薄田委員、岩本委員、押方委員
欠席委員 松本（啓）委員、高倉委員
事務局 高崎課長、米村社会教育係長、西村生涯学習推進係長、満永参事、田島参事、小林主事、木本社会教育指導員、塩田社会教育指導員

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

(1) 令和6年度八代市社会教育団体補助金予算（案）について

社会教育団体3団体が、それぞれの令和6年度活動計画及び補助金予算案について説明があり、その後質疑。

①八代市地域婦人会連絡協議会

【質疑応答・意見】（抜粋）

- （委員）今現在婦人会は何校区あるか。
（婦人会）7校区。
（委員）何名ほどいるか。
（婦人会）1, 381名。
（委員）会員数の増減関係はどのようになっているか。
（婦人会）高齢の者はなるべく施設に入りたいと。私の校区では令和5年度では新しく50歳代以上の方に7名加わっていただいている。亡くなる方も多く、大きく減少しているような状況だ。
（委員）本校でも交通安全の見守りやクラブ活動の補助で婦人会の方にもたくさん来ていただいている。どこも昨今コミュニティスクールということで、地域の方の応援というのは熱が高まっているのではないかと思う。予算的に校区への助成金が3万というのはどうか。
（婦人会）参加しようかなというだけでは成り立っていかない。補助に使っている。
（婦人会）松高校区は、自治協議会の方と小学校のPTAとで賃金を上げるように手続

きをされて、そちらから少しいただいている。

- (委員) 少しでも補助が可能であればと思ったため、お尋ねした。
- (婦人会) 少しでも、というのはあるが、松高校区では昨年から学校関係の補助がいくらというのを決められ、他はゴミ袋を半分ずつ配る等、来られた方に少しでもあった方がいいかなということで、四苦八苦している。
- (委員) 婦人会は7校区ある。市政協力員の場合は20校区だが、この場合は21校校区で計算するのか、20校校区で計算するのか。
- (委員) 最初合併した時は20校区。
- (委員) 7校区に対して事務局はどう思っているか。
- (事務局) できれば全校区で加入はいただきたいが、実情として、市の婦人会に加盟されてなくても地域によっては婦人会として、校区で活動されているところもあるようだ。ただ、市が補助を出しているのは市の婦人会全体に対しての補助となっている。地域によっては活動自体がなくなったところもあるように聞いている。それぞれの地域で社会教育団体は大事な位置づけと考えているため、できれば各校区には加入を促していただければと思っている。
- (委員) 敷川内町は婦人会と消防団はなくてはならない存在として位置づけている。活動するにあたっては予算がいるため、町内から1年間5万円くらい助成をしている。
- (委員) 合併当時は東陽校区も行っていたが、人員確保が難しかった。最初東陽だけで40万円くらい補助金があったが、市に合併してからはそれが20万円くらいになった。それから段々なくなるという話だったので、東陽だけでも残しておきたいということで、自分たちのお金を出し合って活動はしている。20校区から7校区になって、170万から100万になった後もそれぞれで頑張っているところもあるので、そこは少しやっていただければ助かる。

②八代市子ども会連合会

【質疑応答・意見】(抜粋)

- (委員) 子ども会の会員数の推移で、新牟田1が0人になっているということで、これは無くなったという意味か。
- (子ども会) まだ今年の届けが登録されていないため、0人になっている。
- (委員) 上土が8人から13人になっているが、これは地域の方が頑張って増やしたからなのか、子どもが増えたからなのか。
- (子ども会) 今まで入っていない学年の子どもが入ったため。
- (委員) モンキーズについてももう少し詳しく知りたい。
- (子ども会) 子ども会を地域でつくろうと模索している。共働きの家庭が増えたりなど、子ども会を取り巻く環境が今までと変わり、子ども会の活動を増やしたり人を

増やすのが難しくなっている。鏡小学校のバレー部の監督が熱心な方で、その方に色々話をし、バレー部の子どもたちを子ども会に入会させた。モンキーズという名前は、監督が大学時代にモンキーズという名前のクラブを作っていたところから。今までの固定概念ではなく、とにかく子どもたちが楽しく集まってくれるようなところを作っていきべき。子どもたちを取り巻く環境が変化しているということを念頭に置いている。

(委員) 1点補足、1点お尋ねをしたい。活動回数は0でも、地区ごとの活動は0の団体もやっているということを補足したい。

全子連、県子連があるが、子ども会活動には子ども会憲章というものがあり、地域クラブが子供会に入るときに規約があると思うが、規約との整合性や、規約改正しないといけない、しなくても憲章の大枠には括っているからいいなどの確認はどうなのか。

(子ども会) 子ども会の会長に案内を出している。加入に関しては、子ども会に一任している。

(委員) 加入条件として、地域の方が入ってくる。スポーツ少年団など地域のスポーツクラブの方が子ども会としてなるときに、八代市の子ども会で決めてもいいのか。

(子ども会) 小学生だけではなく、幼稚園児・保育園児も対象に入れている。高校生くらいまではよい。主になっているのは小学生。

(委員) お尋ねしたかったのは、クラブチームの方が子ども会として加入してもよいのかどうか。

(子ども会) 先ほどのモンキーズが新しい取り組みの例。クラブには案内していない。今後は、クラブチームや部活動にもっていこうと思っている。

(委員) 各種クラブそのものを市子連に取り組むのは難しいと思う。事故も心配だし、予算も大変。

(委員) 部活動やクラブに入っていない子どもが多い。そういう子どもたちにとって子ども会がいいと思う。なので、クラブに子ども会をもっていくのは目的からずれると感じる。0のところが増えているので、もっと加入してたくさん子ども会ができればいいと思う。

(委員) 例えば事故が起きた時に子ども会から保険がおりてくる。そのときに会員として県子連や全子連が動いているのであればいいが、それが規約上あるいは憲章上いいのかどうか、その確認がどうなっているのかというところがわからないし、それがいいよとなってクラブ活動は子ども会から保険ももらえるしということで、趣旨が違ってくるといけないので、その確認が必要ではないか。規約にきちんと明文化しないといけないのではないか。

(委員) 子どもたちだけではなく、消防団など地域の団体に入る人が少なくなっている。

どうにかして増やさないといけないが、大事なものは、趣旨。

(委員) 県や国との関係がどうなっているか、事務局から確認していただきたい。

それと、安全会共済費が850名となっているが会員数と人数が違うため、子どもだけではなく育成会も含めているのか、事務局から確認してもらいたい。

(委員) 婦人会や子ども会の課題は、人口減少や社会情勢の変化。取組としてはある程度の制約が必要だが、どうやったらサポートができるかというのを考えていただきたい。

③八代市PTA連絡協議会

【質疑応答・意見】

無し

(2) 第3期八代市教育振興基本計画について

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

無し

(3) 令和6年度予算要求に向けて

事務局各担当より説明。

今年度の予算の内容について説明し、その後、来年度の予算について協議。

【質疑応答・意見】

(委員長) 令和6年度に向けて、財政課から予算関係について、一律カットなどどうなっているか。

(事務局) 財政課から予算要求にあたり方針が示されている。その方針にできるだけ近いような形で予算を計上している。

4. その他

第3回社会教育委員会議の日程について

生涯学習課主催のイベントについて

5. 閉会